

科目番号	21	科目名	中世の文学	
			Medieval Japanese Literature	
大学・短期大学名	滋賀文教短期		大学	
連絡先	滋賀文教短期大学			
	TEL :	0749-63-5815	FAX :	0749-65-1921
担当教員	池田 大輔 (国文学科 講師)			
教室名	本館 204教室	会場	滋賀文教短期大学	
授業期間	2021年 年 9 月 15 日 (水) ~ 2021年 12 月 22 日 (水) <毎週 水曜日> 時限・講時 9 : 05 ~ 10 : 35			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定期試験 (筆記)			55 %
	レポート試験 (期末)			%
	平常点 (出席・授業態度)			%
	その他 授業での取り組み			45 %
別途負担費用	なし			
その他特記事項	<p>◎欠席の場合は事前に連絡をすること。 ◎新型コロナ感染拡大の状況により遠隔講義を実施する場合があります。 ・遠隔講義の場合は、「Google Meet」を使用したりリアルタイム型となります。 ・「古語辞書」(電子辞書も可)等を用意してください。 ・「授業での取り組み」では、授業後の「コメントペーパー」各3点×15回=45点として評価します。 ・定期試験採点后、希望者には答案用紙の返却を行います。 ・オフィスアワー: 金、10:00~12:00</p>			
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】				
<p>貴族文化と武士文化、町民文化の橋渡しとなる中世説話を扱います。講義では、誰も1度は聞いたことがあるであろう「浦島説話」を取り上げ、「なぜ玉手箱を開けたのか」「玉手箱とは一体何だったのか」「浦島説話はハッピーエンドかバッドエンドか」など、疑問を起点として本文を丁寧に「読む」ことで、「考える」力を鍛えるよう促します。上代や中古、近世、近代の「浦島説話」も概観し、どのような変遷で現代に伝わってきたのか(伝承文学)についても考えてもらいます。また、授業形式は、「コメントペーパー」をもとに、受講者同士の考えや意見を共有しディスカッションを行うPBL(課題解決型学習)です。</p>				
【到達目標】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 中世における「浦島太郎」説話の特長を理解し、説明することができる。 2. 「浦島太郎」説話の変遷を理解し、その違いを説明することができる。 3. 他者の考えを共有し、自分の考えを深め「コメントペーパー」に反映して書くことができる。 				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9月15日	ガイダンス:浦島太郎は竜宮城で何を食べたのか!?		
2	9月22日	中世説話と浦島説話		
3	9月29日	浦島と亀との関係はどのようなものか		
4	10月6日	浦島は何処へ行ったのか		
5	10月13日	玉匣(玉手箱)とは何か		
6	10月20日	『御伽草子』1:浦島と亀は結婚する!?		
7	10月27日	『御伽草子』2:浦島は何処へ連れていかれたのか		
8	11月3日	『御伽草子』3:なぜ開けてはいけない箱を渡したのか		
9	11月10日	『御伽草子』4:亀の恩返しとは何だったのか		
10	11月17日	『御伽草子』5:なぜ箱を開けてしまったのか		
11	11月24日	上代の浦島説話1:『丹後国風土記』		
12	12月1日	上代の浦島説話2:『丹後国風土記』		
13	12月8日	上代の浦島説話3:『日本書紀』『万葉集』		
14	12月15日	近代の浦島説話:巖谷小波、太宰治		
15	12月22日	「浦島説話」は何を伝えたかったのか		
<教科書・参考書>				
【教科書】講義資料は、「Google Classroom」にて、授業日前週金曜日に配信するので、授業前に印刷しておくようにしてください(資料はB4サイズ)。 【参考書】『浦島子伝』重松明久、現代思想社、2006年、3,000円(本体) 『浦島太郎の文学史』三浦佑之、五柳書院、1989年、2,000円(本体)				